立命館大学大学院
2024年度実施　入学試験
博士課程前期課程

スポーツ健康科学研究科
スポーツ健康科学専攻

入試方式	実施月	論述	
		ページ	備考
一般入学試験	11月	P.1～	
	2月	P.4～	
社会人入学試験	11月	P.1～	
	2月	P.4～	
外国人留学生入学試験	11月	P.1～	
	2月	P.4～	
学内進学入学試験	7月		
	11月		
学内進学入学試験 （学部早期卒業希望者対象）	7月		
	11月		

【表紙の見方】
×・・・入学試験の実施がなかった等の理由で入学試験問題の作成がなかったもの、または、問題を公開しないもの
斜線・・・学科試験（筆記試験）を実施しないもの

立命館大学大学院
2024年度実施　入学試験
博士課程後期課程

スポーツ健康科学研究科
スポーツ健康科学専攻

後期課程では、筆記試験を実施していません。

受験番号	

2025年度　立命館大学大学院

スポーツ健康科学研究科【博士課程前期課程】入学試験問題

筆記試験　論述

（基礎問題・専門問題）

試　験　時　間
11:00　～　12:00　（60分）

2024年11月9日（土）

≪注意事項≫

１. 配布された全ての用紙の所定欄に受験番号を記入すること。

２. 解答は日本語を用い、答案用紙に横書きで記入すること。

３. 基礎問題、専門問題ともに解答すること。

４. 答案用紙は、計2枚。

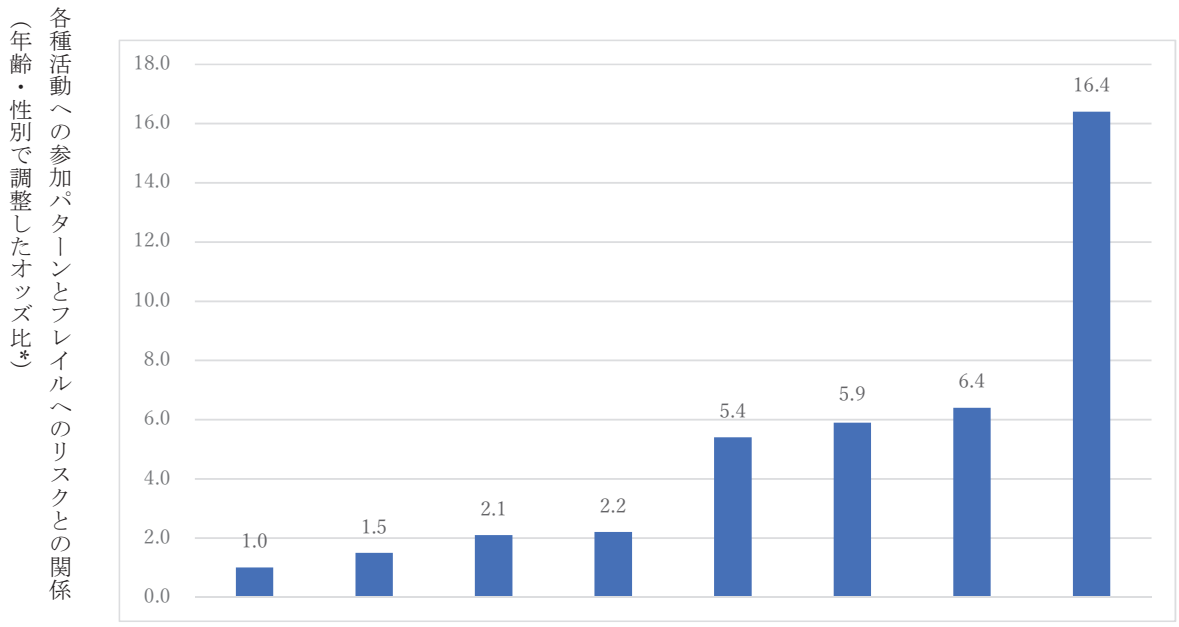
５. 試験終了後、配布した問題用紙等は全て回収する。

受験番号	

基礎問題

（1）以下の図は、身体活動、文化活動、ボランティア・地域活動への参加の有無および参加パターンと、フレイルへのリスクとの関係を示したものである。参加する活動数に着目しながら、図に示された結果について、300 字程度の日本語で説明しなさい。＜40 点＞

（2）図に示された結果に基づき、フレイル予防のためにどのような活動を行うべきか、200 字程度の日本語で説明しなさい。＜20 点＞



回答者数	n＝5,212	n＝385	n＝22,688	n＝1,476	n＝246	n＝9,411	n＝4,150	n＝5,670
身体活動	○	○	○	×	×	×	○	×
文化活動	○	×	○	○	×	○	×	×
ボランティア・地域活動	○	○	×	○	○	×	×	×

*オッズ比：ある群における事象の起こりやすさを基準とした別の群における事象の起こりやすさ

出典：一般社団法人日本公衆衛生学会発行『日本公衛誌』第 66 巻 6 号, pp.306-316.
吉澤他（2019）「地域在住者における身体・文化・地域活動の重複実施とフレイルの関係」表 5 と図 1 を基に作成
https://www.jsph.jp/docs/magazine/2019/06/66-6_306.pdf （アクセス日：2024 年 11 月 7 日）

受験番号	

専門問題

次の（1）～（4）の問題のうち 1 問を選択し、答案用紙に 500 字以内で解答しなさい。答案用紙には選んだ問題の番号に必ず○をしなさい。＜計 40 点＞

（1）スポーツ健康科学

加齢に伴う筋機能の変化について、筋量、筋力、筋パワーの観点から論述しなさい。それを踏まえ、中高年者におけるレジスタンス運動について、運動の継続性を勘案し、奨励される強度や頻度について、さらにはその身体的側面に対する効用について、総合的に論述しなさい。

（2）生涯スポーツ論

バリアフリーおよびユニバーサルデザイン、それぞれを説明したうえで、2 つの違いを述べなさい。また、ユニバーサルデザイン化の 7 指標のうち 2 指標を取り上げ、スポーツ施設におけるユニバーサルデザイン化について具体的に説明しなさい。

（3）基礎機能解剖論

二関節筋の説明をした上で、具体的な筋を一つ挙げ、その筋の起始，停止，作用について説明しなさい。さらにその筋について、スポーツや日常生活の中の動作とどのように関わっているか論述しなさい。

（4）コーチング論

指導者は、選手に対して様々な声かけや働きかけを行う。その具体的なものに、「ほめる」や「叱る」がある。A) これら 2 つの働きかけについて、それぞれの功罪を提示した上で、B) 中学生の部活動の指導者に望まれるコーチングの力量について論述しなさい。

以　上

受験番号	

2025年度　立命館大学大学院

スポーツ健康科学研究科【博士課程前期課程】
入学試験問題

筆記試験　論述

（基礎問題・専門問題）

試　験　時　間
11:00　～　12:00　（60分）

2025年2月2日（日）

≪注意事項≫

１.配布された全ての用紙の所定欄に受験番号を記入すること。

２.解答は日本語を用い、答案用紙に横書きで記入すること。

３.基礎問題、専門問題ともに解答すること。

４.答案用紙は、計2枚。

５.試験終了後、配布した問題用紙等は全て回収する。

受験番号	

基礎問題

以下は令和 4（2022）年「国民健康・栄養調査結果の概要」より、歩数の状況の過去からの経年変化と令和 4（2022）年の性・年齢階級別平均値を示したものである。

（1）この結果に関して、特徴や傾向を 300 字程度で説明しなさい。＜40 点＞
（2）（1）で説明した内容について考えられる理由と対策を 200 字程度で述べなさい。＜20 点＞

図 19－1　歩数の平均値の年次推移（20 歳以上）【平成 22（2010）年～令和元（2019）年、4（2022）年】

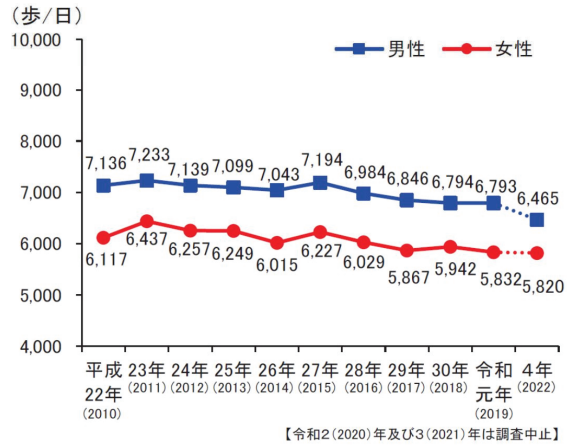
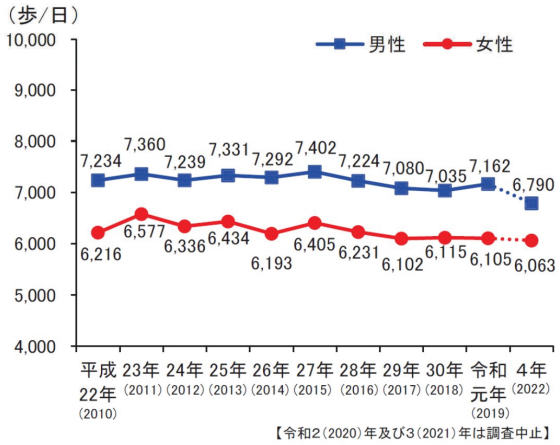
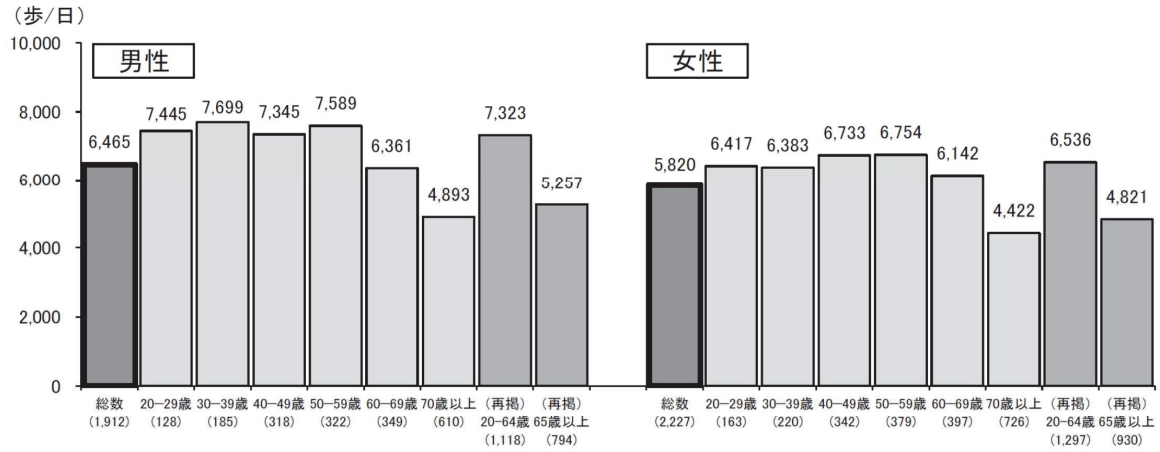


図 19－2　年齢調整した、歩数の平均値の年次推移（20 歳以上）【平成 22（2010）年～令和（2019）年、4（2022）年】



※平成24（2012）年以降は、100 歩未満又は5万歩以上の者は除く。

図 20　歩数の平均値（20 歳以上、性・年齢階級別）



※100 歩未満又は5万歩以上の者は除く。

（参考）「健康日本 21（第二次）」の目標
日常生活における歩数の増加
目標値：20～64 歳　男性 9,000 歩　女性 8,500 歩
65 歳以上　男性 7,000 歩　女性 6,000 歩

出典：厚労省　令和 4 年国民健康・栄養調査結果の概要　P. 17「第 3 章 身体活動・運動及び睡眠に関する状況」「2．歩数の状況」の図を一部改変（https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001296359.pdf）（アクセス日：2025 年 1 月 23 日）

専門問題

受験番号	

次の（1）～（4）の問題のうち1問を選択し、答案用紙に**500字以内**で解答しなさい。答案用紙には選んだ問題の番号に必ず○をしなさい。<計40点>

（1）スポーツ健康科学

加齢に伴う高血圧に対する運動の効果とその機序について論じなさい。

（2）生涯スポーツ論

フェアプレイについて具体的な行動指針を含めて説明しなさい。その上で、スポーツ実施場面において、フェアプレイはなぜ重要なのか、論じなさい。

（3）基礎機能解剖論

足部アーチの構造を説明しなさい。また、衝撃を吸収する足部のメカニズムについて説明しなさい。

（4）コーチング論

スポーツ指導現場における倫理的問題について、以下の観点から論述しなさい。

1. スポーツ指導現場には一般社会以上に倫理的問題が生じやすい環境がある。その理由について説明しなさい。また、スポーツ界特有の具体的な倫理的問題事例を説明しなさい。
2. スポーツ指導現場において、指導者が倫理に反する指導をしない為に心がける点について説明しなさい。

以　上